

第14回最小侵襲脊椎治療学会(MIST学会)開催報告

2024年6月28-29日に第14回最小侵襲脊椎治療学会(MIST学会)を倉敷アイビースクエアにて開催致しましたのでご報告申し上げます。本会の開催にあたり、会員ならびに関係者の皆様には格別のご指導とご厚情を賜り誠にありがとうございました。あらためて厚く御礼申し上げます。

メインテーマは「チームビルディング」、サブタイトルに「伏竜鳳雛」、裏テーマに「感謝と恩返し」を掲げ、2日間にわたり、603名(企業:133名含む)のご参加をいただき、計54セッション・276演題(ポスター含む)と、おかげさまで過去最多参加人数、最多演題数、リアル&ソーシャルでの多くの反響を得まして盛會に終えることが出来ました。協賛企業・団体からは97件もの温かいご支援をいただき、特に企業さまからの参加者が今回多かったのも特徴的でした。最後の単会開催かもしれないMIST学会としまして、私が考えるMISTらしい企画、今まで見たことのない企画やしなかけを多数用意し、ワクワクし、好奇心がくすぐられるような学会を目指して準備してきました。

学会本会のプログラムでは、長谷川徹先生による若手医師への熱いメッセージ性の強い特別講演、企業共催セミナーの魅力的な講演の数々、各MIST分科会企画、そしてハンズオンなど従来のMISTらしい企画が充実しておりました。また、今回新たな企画として、元ラグビー日本代表の五郎丸選手と群馬脊椎脊髄病センターの清水敬親先生との2人のレジェンド対談、47都道府県の次世代代表の先生によるプレゼン企画(秘密のケンミン治療法)、スマホと連動した会場一体型のディベートであるワクワク会議、低侵襲手術に関する発明を競い合う発明-1グランプリなどを用意しました。ワクワク会議はコメントやリアクションが飛び交う中、熱いディスカッションが行われました。特別企画では、五郎丸選手の会場を包み込むようなオーラと素晴らしい講演に会場中が魅了されていました。またラグビー経験者の先生と五郎丸選手との集合写真は貴重な1枚となりました。

また、コメディカルセッションもかつてない規模、充実した内容で開催いたしました。さらには史上初でありますメディカルスタッフだけの全員懇親会を開催し、病院の垣根を越えて交流してもらいました。

全員懇親会では、特別ゲストをお呼びして皆さんで大合唱、会場内が一体となり、コロナ禍では考えられない熱気に包まれていました。

本会の閉会後には倉敷市児島の「山桃花」に移動して、恒例の症例検討会(本音会)を行いました。今回も、学閥・年代を超えて、皆さんと親好を深めることができたと感じております。

学会を通じまして、卒後10年目前後の若い先生に多く参加いただいたこと、参加していた人たちが会場や廊下などで口々に、何この学会ヤバい、面白かった、楽しかった、元気をもらえたなどと聞こえてきたことで、我々がやってきたことは間違いなかったのだと大変嬉しく思っています。ファウンダーの5名の先生が築き上げてきたMIST学会の原点とすばらしさを見せられたのではないかと感じております。

最後に、本学会は非常に多くの方々のご協力・ご支援をいただいたことで盛會に終えることができたと考えております。まさにこの学会のテーマ「チームビルディング」によって、すべての人たちが「One Team」となった成果だと思えます。MIST学会、最後の単会開催の先には、「MISTの絆」が今回あらためて垣間見えた気がしました。この絆を次回以降も引き継ぎたいと思えます。

そして、事前準備ならびに当日の運営にあたりましては、行き届かない点もあったかとは存じますが、何卒ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

第14回最小侵襲脊椎治療学会(MIST学会)
会長 中西一夫 拝

会長招宴



特別企画



ラグビー経験者集合写真



コメディカル集合写真



アワード受賞式



ケンミン治療法授賞式



発明—1受賞式



本音会



ゴルフ交流

